

審査項目

No	大項目	中項目	評価にあたっての視点	参考資料	配点	審査(例) (5段階評価)	点数 (加重評価方式)
1	市民視点 (利便性・UI/UX)	申請のしやすさ・スマホ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・PCだけでなく、スマホでの操作性が優れているか(文字サイズ、入力補助、レスポンス)。 ・申請者が離脱しないような仕組みとなっているか ・マイナンバーカード既取や公的個人認証がスムーズに行えるか。 ・入力一時保存や、過去の申請内容の再利用など、入力負担を減らす工夫があるか。 	機能要件 No. 1, 18, 21	15	5	15
		手続きの透明性・決済	<ul style="list-style-type: none"> ・申請ステータス(審査中・完了等)が分かりやすく通知されるか。 ・不備があった場合の修正(差異し対応)が簡単に行えるか。 ・キャッシュレス決済の動線がスムーズか。 	機能要件 No. 24, 25, 26, 27, 61~63	10	4	8
2	職員視点 (業務効率・内製化)	フォーム作成・管理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識(関数やVBA等)がなくても、ドラッグ&ドロップ等で直感的に申請フォームを作成・修正できるか。 ・フォーム作成する職員にとってUI/UXが優れているか。 ・条件分岐(設問Aで「はい」なら設問Bを表示など)等の高度な設定が容易か。 ・公開・非公開の切り替えや、テスト公開がスムーズに行えるか。 	-	15	5	15
		審査・事務処理効率	<ul style="list-style-type: none"> ・申請一覧の視認性が良く、ステータスの一括更新やCSV出力が容易か。 ・LGN環境でのファイル無害化やダウンロード手順が煩雑でないか。 ・ダッシュボード機能(申請件数等のグラフ化)で利用状況が把握しやすいか。 	機能要件 No. 40, 41, 43, 45~49, 68, 69	10	3	6
3	実施体制・計画	スケジュール・運用保守	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年7月1日の本稼働に向けた現実的なスケジュールか。 ・テスト期間やデータ移行期間が十分に確保されているか。 ・職員向けヘルプデスク(電話・メール)の対応時間と体制の充実がなされているか。 	仕様書 3.1, 4.2.1, 4.2.2	10	3	6
		一般職員向け研修・マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な操作研修の回数や対象範囲は適切か。 ・マニュアル(職員用・利用者用)は分かりやすく、更新頻度も適切か。 	仕様書 6(1)(2)(3)	10	3	6
4	追加提案・実績	発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の要件を超える有益な提案(機能追加、運用改善など)があるか。 ・将来的な拡張性や他システムとの連携機能の提案があるか。 ・DX推進メンバーに向けた応用研修の提案があるか。 ・BPRの支援に向けた提案があるか。 	仕様書 4.2.2(4) 仕様書 7	15	3	9
5	プレゼンテーション	デモ・質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の画面(デモ環境)を用いた説明があり、操作のレスポンス(速度)や直感的な使いやすさが確認できたか。 ・質疑応答において、技術的な質問や運用面の懸念に対し、的確かつ誠実に回答できたか。 ・本市の課題(DX推進・内製化)を深く理解し、パートナーとして共に解決しようとする熱意や姿勢が感じられたか。 	-	15	5	15
6	価格	見積金額(3か年の費用を合算した額)	<ul style="list-style-type: none"> ・設定金額の範囲内であるか。 	仕様書 3.2	10	事務局にて採点	-
合計					110	31	80

審査にあたっては、5段階評価を目安とする
 【項目評価の考え方】
 ・非常に優れている 5点
 ・優れている 4点
 ・普通 3点
 ・劣っている 2点
 ・非常に劣っている 1点